

学校経営計画

1. 平成27年度 学校経営の方針

『学校教育目標』、さらに『中期学校経営方針』の具現化を図るため、平成27年度の学校経営方針を次のように設定する。なお、すべての教育活動は人権尊重の教育を基盤とし、誰もが安心して豊かに過ごせる学校を目指す。

- (1) 学校教育目標の浸透と中期学校経営方針の推進
- (2) 秩序ある学校づくりと組織的な生徒指導
- (3) 自ら考え、判断し、発信する生徒を育てる教育課程の運営・改善
- (4) 全校職員が積極的に学校運営に関わる活気ある学校づくり
- (5) 全教職員の時宜を得た研修による教師力・指導力の向上
- (6) 家庭・地域・関係機関との交流・連携による地域に根付いた、開かれた学校づくり
- (7) 1中1小の利点を生かした左近山小学校（3小統合）との連携推進
- (8) 東日本大震災をふまえた、学校施設の保全と防災体制の強化

2. 平成27年度 指導の重点

左近山中学校の学校教育目標「未来を創る力の育成」のために、文部科学省や神奈川県、横浜市の教育の動向をふまえ、『中期学校経営方針』を踏まえ、27年度の「指導の重点」を次のように設定する。

(1) 学力向上（知）

（★は特に重点化）

- ★ 新学習指導要領の実践による思考力・判断力・表現力の向上
- ★ 落ち着いて学習に取り組める学級・学年・学校体制づくり
- ★ 特別な支援を要する生徒への学習支援体制づくり
- ★ 「しっかり教え、しっかり引き出す指導」に取り組み、「わかりやすい授業」をめざす研究授業や研修の充実
- ☆ 朝読書・長期休業中の自主学習・家庭学習、地域学習支援教室などによる基礎学力強化と学習の習慣化
- ☆ 図書や放送の効果的な活用
- ☆ 公立高等学校入試選抜制度への周知や対応
- ☆ 1中1小の利点を生かした小中一貫教育のための学力調査や意識調査の分析と検討

(2) 健やかな心と体（徳・体）

- ★ 個別支援学級と一般級の連携、小中の連携、通級指導教室への理解
- ★ 道徳や人権教育の時間の充実と互いの違いを理解し合う心の育成
- ☆ 小中の連携による生徒の体力向上や防災への意識向上、および思考力・判断力・実行力の育成
- ☆ 生徒の規範意識の向上を図る
- ☆ 生徒・保護者一人ひとりへの丁寧な対応といじめ等に関わる問題の早期発見・早期対応

(3) 社会の一員としての自覚と責任（公・開）

- ★ 生徒会活動を核にした、生徒の自主・自律の育成
- ★ 健康・美化・安全教育の充実。特に地震への施設保全や避難体制づくり
- ☆ 高齢者や中学生以下の子どもへの優しさ 思いやりのある行動
- ☆ 地域行事の広報と積極的な参加指導と学校だより等による開かれた学校づくり